

令和2年11月定例会 経済委員会

令和2年12月17日（木）

〔委員会の概要 農林水産部関係〕

南委員長

休憩前に引き続き、委員会を開会いたします。（13時22分）

これより、農林水産部関係の調査を行います。

この際、農林水産部関係の追加提出予定議案について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があれば、これを受けることにいたします。

【追加提出予定議案】（説明資料（その4））

- 議案第30号 令和2年度徳島県一般会計補正予算（第8号）

【報告事項】

- 「新型コロナ対策農林漁業者金融支援事業」の期限延長について（資料1）

松本農林水産部長

それでは、農林水産部関係の案件につきまして、御説明申し上げます。

今回、追加提出を予定しております案件は、令和2年度11月補正予算案でございます。

高病原性鳥インフルエンザは西日本を中心に感染が拡大しているところであり、11月5日の香川県での発生以降、わずか1か月半の間に11県、28例で発生が確認されており、殺処分対象は340万羽を超える事態となっております。

本定例会の冒頭においてこの防疫対策に係る予算をお認めいただいたところですが、いまだ終息が見通せず、香川県で12例目、また新たに高知県でも発生するなど、長期化の様相を呈していることから、ウイルス侵入防止対策に万全を期すため、追加経費の予算措置を行うものでございます。

説明資料の1ページをお開きください。

一般会計歳入歳出予算総括表につきまして、補正額の欄の最下段に記載のとおり、2億1,600万円の増額をお願いするもので、補正後の予算総額は388億3,617万3,000円となっております。補正額の財源内訳につきましては、最下段、計の欄の括弧内に記載のとおりでございます。

次に、2ページをお開きください。

課別主要事項について、御説明いたします。

畜産振興課でございます。

5段目の家畜保健衛生費、摘要欄①のア、高病原性鳥インフルエンザ緊急対策事業におきまして、防疫資材の追加備蓄、消毒ポイント設置の期間延長などに要する経費として、2億1,600万円の増額をお願いしております。

本予算により、阿波尾鶏をはじめとする本県の養鶏業を何としても守り抜くとの思いで、しっかりと対策を講じてまいります。

提出予定案件の説明は以上でございます。

この際、1点、御報告させていただきます。

お手元の資料1を御覧ください。

新型コロナ対策農林漁業者金融支援事業の期限延長についてでございます。

県では、コロナ禍における農林漁業者の皆様の経営をお支えするため、当初5年間金利実質ゼロ、保証料免除となる本県独自の貸付制度について本年5月1日から運用しているところでございますが、第3波の到来とも言われる中、全国的な感染拡大が続いておりまして、農林漁業者の皆様の経営を引き続きしっかりとお支えするため、本年12月31日となっている申請期限を令和3年3月31日まで延長するものでございます。

報告事項は以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願いいたします。

南委員長

以上で、説明等は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは質疑をどうぞ。

庄野委員

高知県宿毛市でしたか、また鳥インフルエンザが発生しました。更にもう1件、香川県三豊市で発生したということで、これから大変だと思いますけれども、消毒ポイントは増えるのですか。

岸本畜産振興課家畜防疫対策担当室長

ただいま庄野委員から、消毒ポイントに係る御質問を頂きました。

本県における消毒ポイントにつきましては、香川県境側で主要幹線道路に6か所設置しておりましたが、和歌山県での発生を受け、南海フェリーが着く徳島フェリーターミナルに1か所設置いたしました。さらに、高知県での発生を受け、食用の出荷鶏が高知県の1農場から本県に入っていました。搬入日や本県への輸送ルートが特定されておりまして、万全の対策ができるよう新たに1か所設置いたしました。今は合計8か所で対応しているところでございます。

庄野委員

先日もお聞きしたら1か所当たり3交代。県職員も1日につき3人が8か所、計24人が自分の職場以外の仕事をするようになります。寒い時期ですのでインフルエンザや風邪などに気を付けていただきたいと思います。

それと、消毒ポイント解除の大体の目安は分かりませんか。新たに高病原性鳥インフルエンザが発生しましたし、また発生するかもしれませんね。このまま出なかったとして、いつぐらいまで消毒ポイントを設置しなければいけないのですか。

岸本畜産振興課家畜防疫対策担当室長

ただいま庄野委員から、消毒ポイントの解除時期、他県での防疫措置の終了時期等の見

通しについて御質問がございました。

高病原性鳥インフルエンザの終息時期、いわゆる移動制限が解除される時期につきましては、発生農場における殺処分、汚染物品の処理、農場の消毒などの防疫措置が完了した日から21日を経過した後に解除されます。そのため、例えば高知県、香川県での発生が昨日確認されましたけれども、現在は殺処分等の防疫措置を実施中でして、防疫措置の終了後21日間が一つの目安ではありますが、発生農場を中心に3キロメートル圏内の養鶏場において新たな発生がなければというようなことでございます。そのあたりにつきまして、他県の発生状況を注視してまいりたいと考えております。

庄野委員

分かりました。かなり長引く可能性があるので、この予算を有効に使ってもらいたい。今回は主に消毒ポイント関連の予算になるわけですか。

岸本畜産振興課家畜防疫対策担当室長

ただいま庄野委員から、今定例会の閉会日に御提案させていただく予算の内訳につきまして御質問いただきました。

今回要望させていただいている予算につきまして、消毒ポイントの経費、例えば器具のレンタル料、資材の購入費なども含めて1億9,800万円、それと消石灰の備蓄、殺鼠^そ剤配付の経費で1,800万円、総額2億1,600万円を計上させていただいております。

庄野委員

分かりました。気を付けて万全な体制で行っていただきたいと思います。

南委員長

ほかに質疑はございませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、農林水産部関係の調査を終わります。

これをもって、経済委員会を閉会いたします。（13時31分）